

会 議 録

1 会議名

令和6年度 第9回三郷区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

○報告事項（公開）

- ・地域独自の予算事業の一覧について

○自主的な審議（公開）

- ・三郷区の人や自然など美しい風景の魅力発信について

3 開催日時

令和7年2月25日（火） 午後6時30分から午後7時45分まで

4 開催場所

三郷地区公民館 集会室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名

- ・委 員：保坂会長、片山副会長、小山副会長

稲葉（里）委員、稲葉（恵）委員、梅川委員、小竹委員、竹内委員、
竹田委員、和田委員、渡部委員（欠席者1人）

- ・事務局：南部まちづくりセンター 大島所長、小池副所長、石黒係長

8 発言の内容

【小池副所長】

- ・ 上原委員を除く11人の出席があり、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・ 同条例第8条第1項の規定により、議長は保坂会長が務めることを報告

【保坂会長】

- ・ 会議の開会を宣言

- ・ 会議録の確認：渡部委員、梅川委員に依頼

― 次第２報告事項 地域独自の予算事業の一覧について ―

【保坂会長】

次第２報告事項 地域独自の予算事業の一覧についてに入る。

事務局より説明を求める。

【小池副所長】

- ・ 資料No.1 により説明

【保坂会長】

- ・ 今ほどの説明に質疑を求めるがなし

三郷夏祭りや健康ウォークなど来年度末で三郷小学校が閉校するため、その関連で、いつもより大きな行事が組まれるという話を聞いている。できるだけ皆さんのほうで参加していただければと思う。

以上で次第２報告事項 地域独自の予算の一覧についてを終了する。

― 次第３自主的な審議 三郷区の人や自然など美しい風景の魅力発信について ―

【保坂会長】

次第３自主的な審議 三郷区の人や自然など美しい風景の魅力発信についてに入る。

事務局より説明を求める。

【小池副所長】

- ・ 資料No.2 により説明

会長とお話をさせていただき、いろいろな意見が出るように、２班に分かれて話し合いをしたらどうかということになった。

【保坂会長】

補足だが、前回の会議で出していただいた意見をまとめていただいた。「三郷の

良いところ」「魅力を守るには」「情報を共有するには」ということで、これを具体的に取組むために「星空を見る会」「写真コンテスト」「ドローンで風景をDVDに残す」の3点が出てきた。

二つのグループに分かれて、より具体的な方法を探るのだが、時間がかかったり、莫大なお金がかかるものは、私たちの手に負えない部分もあるので、私からの提案として、「星空を見る会」と「写真コンテスト」が皆さんの中で他で協力して下さる人を巻き込んでもできる状況ではないかと思っている。

2班に分かれたときに「星空を見る会」と「写真コンテスト」をより具体的にやるためには、どんな手順でどんな手助けを求めるか、あるいは、PRしたり、実際にやるとすれば、どんな形でやったらみんなが集まってくれるか。実現できないかもしれないが、こんなことをやったら三郷区の人たちが楽しめて、人が集まってきたり、三郷区のよいところをさらに発見してもらえるのではないかということを、具体的に意見を出してほしい。

— 班別に意見交換 —

【保坂会長】

各班で話し合った内容を発表していただきたい。

【片山副会長】

二つのテーマについて話を進める中で、星空を見る会のほうで主に意見をいろいろ出していただいた。その中に写真コンテストも加わるような形で進めてみた。まず、星空を見る会の場所は小学校の屋上ないし、グラウンドを活用して使い、時期としては、一番星が出るのは夏の星座ということで、天の川が出るころに開催するのがよいのではないかということで、7月頃になるのかと思う。もう少し詳しく言うと、実際に日程を考えると、人が集まっていただけ、子どもが行きたくても親と一緒にいけないということになると困るので、週末に開催できればということである。その中身は、星を見る前にある程度の勉強会を実施してから、実際の星を見るというふうにしていきたい。星座についての説明となると、清里星のふるさと館

のほうで、専門に説明している人がいらっしゃるの、星座についての詳しい話を
していただければと思う。また、星を見る会の中では実際に望遠鏡を用意して、具
体的に言えば土星の輪がどのように見えるのかを見ていきたい。

もう一つは、その星座や星を写真撮影するときの撮り方を交えてやったらどうか。
撮影するのが得意な人に限らず、小学生のお子さんから年齢は問わずに自分がよい
と思うものを撮れるようにやっていったほうがよいのではないかな。望遠鏡、星への
興味を勉強していただく中で、三郷の魅力としてこんなに綺麗な星が見えるという
ことにつなげていけたらということである。開催に係る広報的なお知らせについて
は、三郷地区の中でやってみようということで、各町内等の回覧板でやっていただ
く。子どもへの通知はPTAを通じてやっていくのがよいのではないかな。時間的に
は、星を見る前の勉強会を同日にということ、夕方6時30分頃から説明が始ま
って、実際に暗くなった8時頃に星を観測するという事で状況をみながら、おお
むね1時間ほどで終了として、興味のある人は時間の許す限り星に親しんでいただ
ければと思う。最後に出席された人にはぜひ星を見る会に参加した参加賞のような
ものを何か渡せれば、星への興味がその先にもつながっていくのではないかなとい
うことで意見が出ている。これが夏でうまくいったら、三郷の冬の星も非常に綺麗だ
ということを皆さんにさらにお知らせできるような星を見る会を開催できればよ
いというような意見だった。費用は、星のふるさと館の先生を呼ぶくらいで、あと
は大きく費用が掛からずに開催できるのではないかな。

写真コンテストについては、開催者が題目を決めてやる必要がある。三郷の魅力
を発信できるような題目でコンテストとして開催したらよいのではないかな。また、
写真については、うまい人とか関係なく、できれば、撮りたい人が撮ったものを集
めて展示できるような形にしていきたい。開催自体はそのために一つの会を求め
るとなると非常に大変になるので、地域の文化祭などの会場で集まった写真を展示
してご覧いただく形で、三郷の新たな発見につないでいけたらということである。公
民館の文化祭の会場で場所を借りて出していただいたものを展示していきたい。

【小山副会長】

星空を見る会の話し合いとしては、1班と同じように星のふるさと館の方から出

張してもらって、星座についての話を聞けたらよいなということだった。それに合わせて、星のふるさと館の人に、星を見るにあたっていつ頃がよいのか、星を見る上でもそうだし、星のふるさと館の職員の都合もあると思うので、問い合わせをしたほうがよいのではないかな。時期としては、夏休みに合わせてやったほうがよいのではないかなという話と、天気にもよるし流星群がある時期を調べて、それにあわせてやってみてもよいのではないかなという意見もあった。場所は三郷小学校の屋上ということだったが、夜、屋上に上がるにあたって、安全面で屋上は危険なのではないかなということで、グラウンドのほうが小さいお子さんを連れてくる家庭もあるだろうし、どうしても夜暗くなってしまうので、安全なグラウンドのほうがよいのではという意見もあった。

また、星の写真を撮るにあたって、三郷の中には写真撮影を仕事にしている方もいらっしゃるので、写真の撮り方をレクチャーしてもらえればよいという意見もあった。

写真コンテストのほうでは、三郷区内で撮ったもの、三郷のもの、人という感じで限ってコンテストをしたらよいのではないかな。ただ、コンテストとなると順番を決めなくてはいけないので、あまりそういったものにはこだわらず、例えば、三郷のいいところ発見写真展のような別のネーミングを考えてみたらどうか。これに関しても星の観察と同じように、まず、撮り方講座のようなものが必要なのではないかなという意見があり、先ほどのお二人に教えていただければいいなという話だった。今、一番身近なのが、スマホで撮る方が多いかなと思うので、スマホでの写真の撮り方を教えてもらえればよいなということだった。写真を募集するにあたって、募集期間をどうするかという話もあったが、例えば、令和何年から何年までの写真でというように、さかのぼって募集をしてもよいのではないかな。募集するにあたって具体的になると、サイズや印刷の書式などいろいろあるが、写真の大きさにしても最大A4サイズまでにして、サイズは自由でもよいのではないかな。印刷の仕方もこだわらないで、家のプリンターとかでもよいのではないかなという話が出た。写真に関しても部門別に例えば、公民館で展示する場合であっても、1階は何部門、2階は何部門と部門別に見てみたらどうか。公民館の文化祭で写真を飾るという話

も出たが、写真の募集枚数がどれくらいになるか分からないので、現在でも文化祭で展示されている作品も多いので、飾り切れないかもしれない。例えば、別の日で土日貸し切りにして写真展を開いてみたり、または、公民館の壁に1か月ごとに写真を変えて貼らせてもらったりしたらどうか。募集期間はさかのぼって何年までという話を先ほどしたが、中には古い三郷の写真を出してみてもよいのではないかと、何年か前の豪雪の様子の写真を出してみてもよいのではないかという意見もあった。

【保坂会長】

たくさん意見を出していただき、本当にありがたい。先日、テレビを見ていたら有名な実業家の話をされていて、途中でお金がなくて自分で会社をつぶしたりしたこともあるが、お金がなくても自分には知恵を持った人がたくさんいるという話をしていた。地域協議会も資金はないが、今、皆さんが意見を出してくれて、知恵を出し合う仲間がいるのはすごいと思った。これをより具体的に次のステップにつなげていくために事務局と正副会長で相談させていただきたい。

以上で次第3 自主的な審議 三郷区の人や自然など美しい風景の魅力発信についてを終了する。

— 次第4 事務連絡 —

【保坂会長】

次第4 事務連絡に入る。

事務局より説明を求める。

【小池副所長】

- ・第10回地域協議会：3月25日（火） 午後6時30分から 三郷地区公民館

【保坂会長】

- ・今ほどの説明に質疑を求めるがなし

梅川委員が、第4週の火曜日の地域協議会の会議が、所属団体の会議と重なってしまい、欠席が多くなってしまうということなので、4月以降の事について、他の

曜日にしてもらえないか、次回皆さんと相談したいと思う。

本日の議題は全て終了した。

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

総合政策部 地域政策課 南部まちづくりセンター

TEL : 025-522-8831 (直通)

E-mail : nanbu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせて御覧ください。